

令和3年10月18日

自由民主党衆議院議員  
江藤 拓 殿

## 請願書

日向市浜町3丁目29番地

請願人 黒木 紹光



憲法第16条に基づき、以下の通り請願します。

宮崎県は、2年半以上前の2019年4月には、株式会社コーソクの不正軽油犯罪を把握しながら、これを黙認放置し、同様に、宮崎県警、宮崎県議会、宮崎地方検察庁も、これを黙認放置したままになっています。この結果、宮崎県の現状は、無法状態となって秩序が失われ、夢も希望もない荒廃した社会状況です。

この理由は、強大な権力が官庁に圧力をかけている以外には考えられず、その強大な権力とは、現実的に、政権政党である自由民主党以外に考えられません。ここで問題となるのは、自民党内の一体だれが、官庁を操り、このような荒廃した異常な状況を招いた張本人かです。そして、張本人がだれであれ、衆議院議員を6期も務めた貴殿の、宮崎県をこのような惨状にした責任は、免れることはできないと考えます。

貴殿の尊父隆美氏は、「よい国を子供にわたそう」というスローガンを抱えて政治活動を全うしましたが、「よい国」とは真逆のこの状況を目にしたら、大いに嘆くに違いありません。自民党政権が実現したのは、「よい国」どころか、自民党と関係が深い企業が犯罪を敢行し、その犯罪を行政も司法も黙認放置するという、国民生活より利権が優先される「荒廃した国」だったのでしょうか。

一方、私が、本件問題を糾弾する「陳情書」を県議会に提出したことに対して、西村賢県議会議員がとった、署名者を訪ねて実質的に脅しつつ署名撤回を求めた行為について、9月23日「請願書」を提出しましたが、自民党県連は未だに何も対応していません。これも、官庁に圧力をかけつつ、臭いものに蓋をしてやり過ごすつもりでしょうか。

よって、自民党主要議員である貴殿に、県民を絶望させるこの状況を是正するため、直ちに適切な対応を求めると共に、政権政党の主要議員として、県民に対して、納得できる説明と解決に導く行動を示すことを求めます。 以上